CLUB BULLETIN

R.　I.　第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会 長　嵐　繁雄
幹 事　林　毅彦
SAA　鈴村　正人
会報小委員長　遠藤　洵

○例会日　毎週水曜日（12:30 ～ 13:30）
○例会場　ホテルミドリ
○事務局　TEL/FAX（0246）56 － 3473
E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

2021 － 22 年国際ロータリーのテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2873 回　例　会　令和４年３月 30 日 (水・晴)
（9 月 22 日振替）

会員卓話

ロータリーソング　奉仕の理想
ー今月は水と衛生月間ですー

４つのテスト
鈴木敏広　会員

◎会長挨拶ー嵐　繁雄会長

皆さん、こんにちは。本日は幹事と副幹事に所用があり欠席されています。また、斉藤副会長も年度末忙しくて欠席すると連絡がありました。ですので私と星会長エレクトの２名で例会を進行したいと思います。コロナの感染者もここの所数日は前の週より増加しております。第７波が間もなく来ると報道がされました。いわき市も増えたり、減ったりと少なくなったと思ったらすぐ 80 名に増えいつも増えているイメージです。3 回目のワクチンもロータリークラブの皆さんは大体お済みだと思います。出来るだけ予防し感染しないように、また移さないよう気を付けて下さい。そして 60 周年関係ですが、前からお話をしているいわきＦＣサッカー教室の予定をたて今現在準備している所です。日程は５月 14 日（土）南部アリーナを会場に行う予定です。今回サッカー教室を行うにあたり、いわき市の後援をいただくように申請をしまして後援の通知をいただきました。日時が近くなりましたらご協力していただく事もございますので宜しくお願いします。それと 60 周年記念式典も４月に入りましたら改めて出欠確認の通知を差し上げたいと思っています。いろいろと予定が変更になり、大変ご迷惑とご心配をお掛けしていますが、これもコロナということでご了承下さるようお願い致します。そして記念式典へのご協力を宜しくお願いします。

◎幹事報告ー星会長エレクト

・いわき分区よりガバナー公式訪問の日程が届いております。今年は７月６日でかなり早いガバナー公式訪問ですので、早急な準備が必要と思っています。
・国際ロータリーから会員増強・ロータリー情報委員会セミナー開催案内が届いています。同じく次年度の役員報告も来ています。
・福島民報社から広告掲載の請求書、いわき市から少年サッカー教室の後援通知、米山記念奨学会から館報が届いております。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー星会長エレクト

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会ー小澤啓一小委員長

・会員スピーチ「会報委員会」の皆様よろしくお願いします。嵐会長､星会長エレクト､髙萩､鈴木(敏)、鈴村、冨澤、白井、小澤、木村（義）、湯目、渡邉公平パストガバナー、木村（博）、佐藤各会員
・本日早退ごめんなさい。　吉野（嘉）、柏原各会員

出席状況	正会員数	40 名	カード出席	２名
	本日出席会員数	25 名	本日の修正出席率	71.17%

◎会員卓話ークラブ会報委員会

遠藤　洵　小委員長

皆さん、こんにちは。クラブ会報委員会小委員長の遠藤です。クラブ会報委員会は私と影山会員、赤津会員で編成されていますがお二人が欠席されていますので私１人でお話をさせていただきます。私は現在福島民報社勿来支局長として丸２年働いております。来月４月の移動にも引っ掛からなかったので来年度も皆さんと一緒に頑張りますので宜しくお願いします。私の出身は白河市です。実家は日本そば屋を経営しております。白河駅前に店を構えていましたが、最近は新白河駅の近くに移転しましてそば屋をやらさせていただいています。親戚一同で経営しており、私の父が副社長で伯父が社長をしてまして飲食店組合に入っているということで以前越田和さんにお世話になっていますとお話をさせていただきました。白河一小、白河中央中､白河高校と進み白河高校で３年野球をやりました。私は甲子園に行けませんでしたが、従兄弟が３人甲子園に出場しております。２人が仙台育英、１人は日大東北で行っています。高校３年の夏に足の靱帯を断絶してしまい出場出来無かったんですが、その時新聞に３年間の努力を取り上げていただいたのが切っ掛けで新聞業界に興味を持つようになり神奈川の文教大学へ進学し４年間学びました。しかし、２年生が終る時に震災が発生し当時茅ヶ崎にいましたが震度５強の揺れで大学に一生懸命避難所を作った記憶があります。東北本線も動いておらず実家へ帰ることも出来ず父から店の食器類がメチャクチャになっている画像が送られて来ました。その時大学で何か出来ないかとボランティアサークルを立ち上げて神奈川のボランティアセンターを通じて被災地支援へ学生 40 名と歩いたのを覚えています。その中でメディアの大事さ宮城県の新聞は紙新聞を作り毎日情報を発信したりとか、私が勤務する福島民報も毎日手作業で避難所へ新聞を届けている状況を目にして地元の為に新聞社で働きたいという思いが新たに芽生えて参りましてそこから就職活動を一生懸命やって今の会社に入社することが出来ました。入社した時は被災地報道に関わる事は無く、営業部門で仕事をしており企業の皆さんを周り新聞広告を使ってＰＲをして企業に貢献出来ればと思い仕事をしていました。福島市で２年、会津若松で４年、郡山で１年そして８年目に勿来支局に移動して参りました。支局長の私１人で仕事をしていますので助けてくれる人もいなければ作業も広告ばかりでは無く、取材へ行って記事を書いて新聞購読のお願いをしています。最初は記事の書き方もわからず毎日いわき支社へ行って報道部長に赤ペンで真赤になるまで書いてもらっていましたが、２年過ぎると自分の書きたい記事を自分の思いで書けるようになって来て、この１年やりがいを感じています。その間震災 10 年ですとか福島 11 年があり震災報道もこの浜通りに居ながらまた双葉町がまだ全町避難していて役場が植田にあることも含め双葉町、浜通りの復興ということに携わる機会が多いので中通りの人間ですが、気持ちは浜通りの人間として被災地いわき、双葉の復興の為に一生懸命何が出来るか取り組んでいるところです。福島民報社は今新聞作りだけでは無く、地域作りを重視しており今年度日本製紙さんが受賞されましたが、ふくしま産業賞という賞を県と一緒に作らせていただき地域の魅力ある企業を発掘して一緒に地域を盛り上げて行こうという地域作りの活動も行っています。コロナ禍で暗いニュースばかりなので明るいニュースもご紹介したいと思います。

開花が進み、春の訪れを告げる河津桜

福島民報：本紙：朝刊
掲載日：2022/3/25

才鉢工区が供用開始
県道いわき石川線 道路改良

いわき市の小名浜港と中通りを結ぶ基幹道路である県道いわき石川線の才鉢工区（延長三・八㌔）が完成し、二十四日に供用を開始した。

開通式が才鉢トンネル付近で行われ、関係者ら約六十人が出席。内堀雅雄知事が広域的な交流や物流の促進につながる」とあいさつした。

才鉢工区は同市田人町石住字才鉢から同神山までの片側一車線道路で、トンネルや七つの橋などを設けた。の成岡興会長の内田広之さんは「災害の被害を抑え、いわき市民らが祝辞を述べた。事業経過報告の後、関係者がテープカットとくす玉を割り、道の初めと